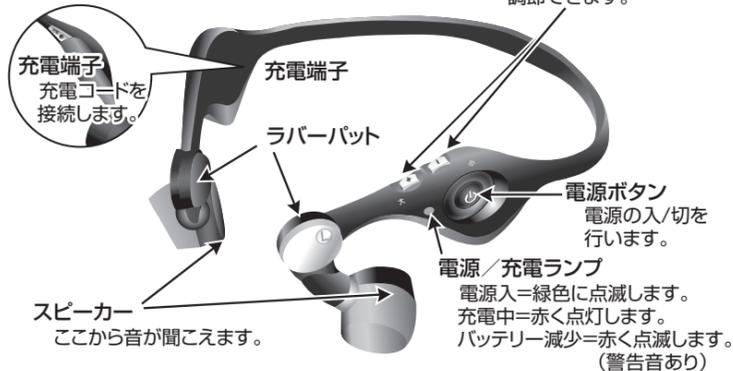


耳かけ型受信機

耳にかけるようにして装着します。
耳介で音声を共鳴させて耳の中へと伝えます。

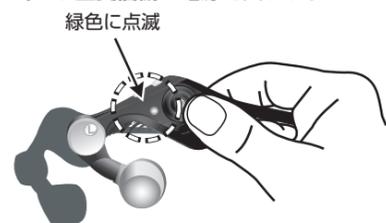
最大8時間連続使用可能です。

※お使いの環境、使用条件によっては、
使用できる時間は異なります。



名称とはたらき

耳かけ型受信機の電源を入れます。



電源ボタンを約1秒間押しと電源が入ります。
■3秒に1回くらいのゆっくりした点滅になると、
電源が入ったしるしです。

*ご使用後は電源ボタンを約1秒間押しと、電源を切ってください。

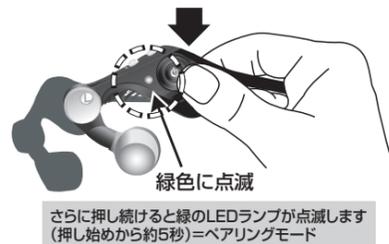
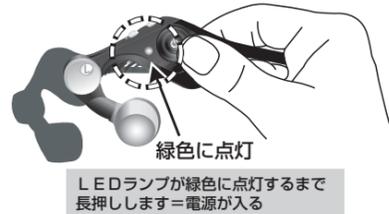
※マイクユニットの電源を切ると受信機の電源も約10分後に自動的に切れます。
(切り忘れ防止)

電源が「入」の状態



耳かけ型受信機・マイクユニットのペアリング方法

- 1) マイクユニット、耳かけ型受信機ともに電源を切ってください。
- 2) 耳かけ型受信機の電源ボタンを約5秒間押し続けますと、緑のLEDランプが1秒ごとの点滅になります。
(長押しで電源が入りますが、さらに押し続けます)



- 3) 緑のLEDランプの1秒ごとの点滅が確認できましたら手を離し、1分以内にマイクユニットの電源スイッチを入れてください。
- 4) ペアリングが完了すると耳かけ型受信機の点滅は3秒ごとの点滅になります。
耳かけ型受信機から音が出ていることをご確認ください。

・耳かけ型受信機が複数台ある場合は同じ動作を1台ごとに行ってください。
・一度設定を行えば、耳かけ型受信機・マイクユニットの電源を切ったり、
バッテリーがなくなってもペアリングの情報は保持されます。
・耳かけ型受信機を別のマイクユニットと使用する場合は、対象になる
マイクユニットと改めてペアリングを行ってください。

マイクユニット+タイピンクリップ付コード

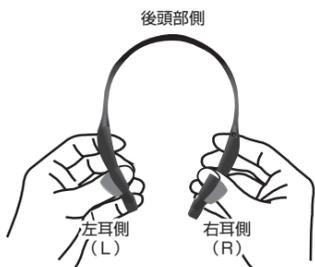
ノイズキャンセル機能で背景雑音を除去し音声
(人の声)だけを伝えます。

名称とはたらき



電源の入/切

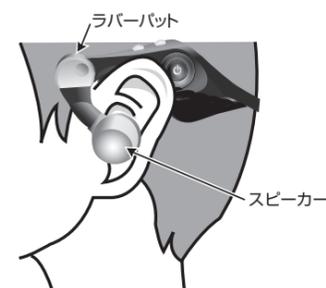
装着方法



①Lを左手、Rを右手で持ちアームを少し広げて頭の上から耳に向かっておろします。スピーカー部分を持って装着すると破損の原因になります。アームの幅が広がった部分を持って装着してください。



②L(左)とR(右)のむきを確認しアーム部分が後頭部側になるように装着してください。



③ラバーパットがこめかみ付近に当り、スピーカーが耳の穴の上になるように調整してください。

※ご使用後は電源ボタンを約1秒間押しと、電源を切ってください。

各機能



通常の会話には言葉と言葉の間に「間」が存在します。「間」とは音がない「無音区間」です。
ゆっくりスイッチを押すと言葉の部分は長くなるので「ゆっくり」聞こえます。

※音楽等、「無音区間」がない音声についてはゆっくり機能が働かない場合があります。



○「音質切替スイッチ」を切り替えてください。
音質1・・・標準
音質2・・・高音近辺を強調
音質3・・・中音・高音を強調

*音質3の場合、マイクユニットと耳かけ型受信機の距離が近すぎるとハウリングが起きやすくなります。約1m以上離してお使いください。



○周囲の音の環境によりノブをスライドしてください。
小・・・周囲がうるさい時に有効
大・・・周囲が静かな時に有効

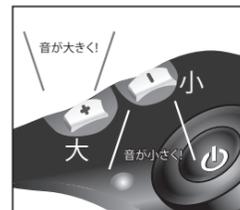
音量調節

耳かけ型受信機についている「音量ボタン」を使い、音の大きさを10段階に調節できます。音量ボタンは、耳かけ型受信機を装着したままでも操作可能です。

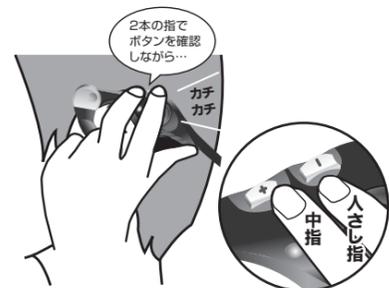


音量ボタンは受信機の左側(L)にあります。電源ボタンの上に2つ並んでいる金色のボタンです。

●周囲の音が十分に聞こえる音量でご使用ください。



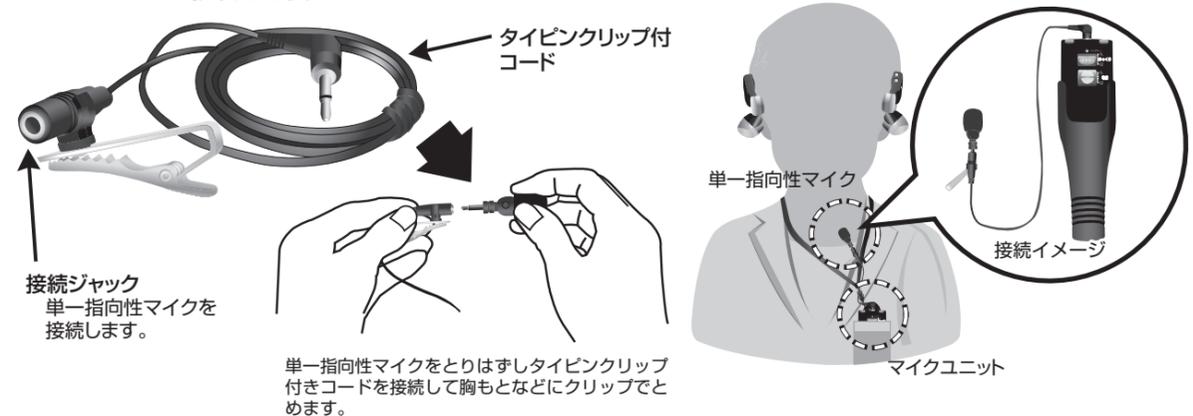
ボタンを押す際は、カチッと音が鳴るまでしっかり押ししてください。
(+)のボタンを1回押しと1段階音が大きくなり
(-)のボタンを1回押しと1段階音が小さくなります。



音量ボタンは受信機を装着したままでも操作可能です。左手で、受信機の左側にボタンが2つあるのを確認しましょう。前側ボタンに中指、後ろ側ボタンに人さし指をおきます。

タイピンクリップ付コードの装着

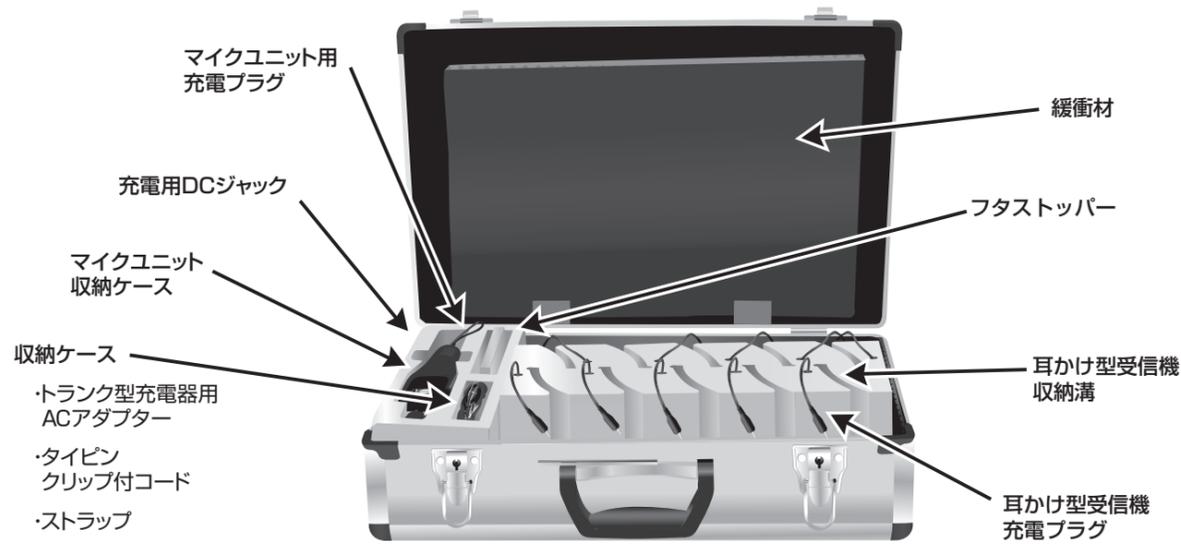
マイクユニットに接続して使います。



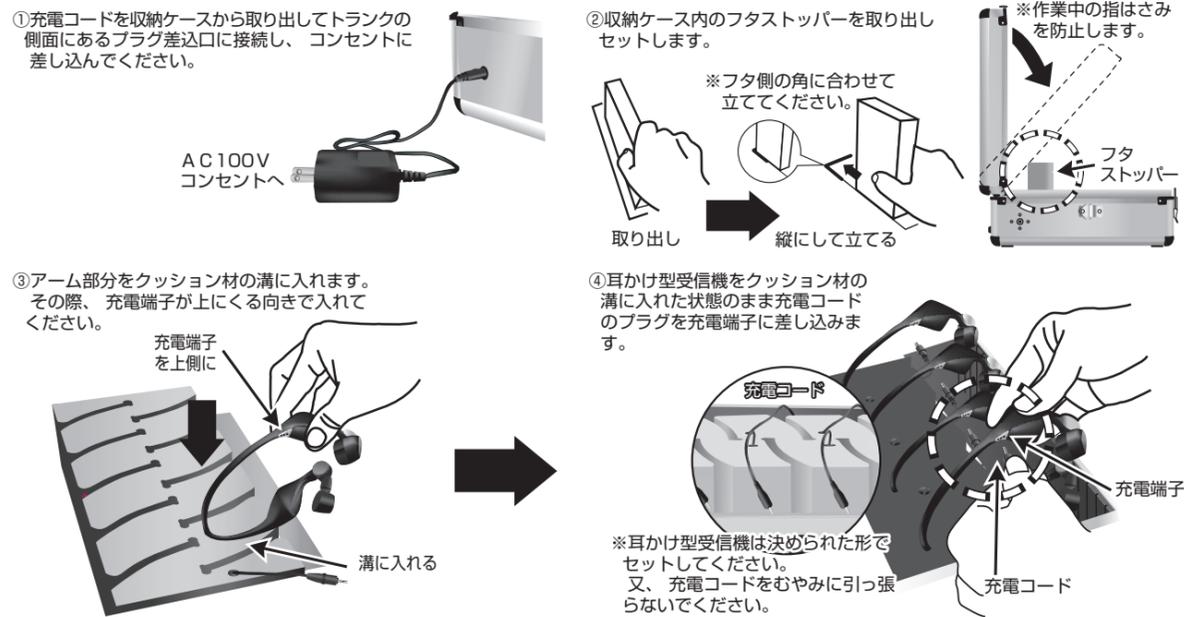
トランク型充電器

トランク型充電器でマイクユニット1台、耳かけ型受信機は10台まで充電できます。

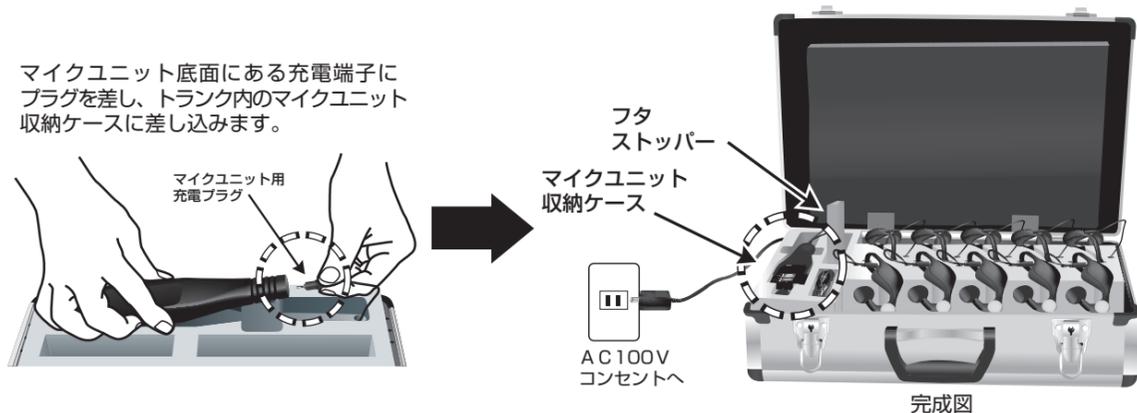
各部の名称



耳かけ型受信機の充電



マイクユニットの充電



充電中はマイクユニットの電源/充電ランプが赤く点灯します。

- マイクユニットは約4時間で満充電になります。
- 耳かけ型受信機は約3時間で満充電になります。
- 満充電になると電源/充電ランプは消えます。

耳かけ型受信機・マイクユニットの充電時間について

充電完了にするための目安時間です。前回充電した分の電池容量が残っている場合は、短い時間で充電完了になります。

★ご使用後は、マイクユニット・耳かけ型受信機ともに充電してください。



オプション品 取扱説明書

このたびは「オプション品」をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

今回お求め頂いたのは

耳かけ型受信機 [GA-500RX]
マイクユニット+タイピンクリップ付コード [GA-500MU]
単一指向性マイク+タイピンクリップ付コード [GA-500MIC]
トランク型充電器 [GA-500TC]

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- 危険** ●人が死または重傷を負うおそれのある危険の発生が想定される内容を示しています。
 - 警告** ●人が死または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 - 注意** ●人が危害を負ったり、財産が損害を受ける可能性が想定される内容を示しています。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 絵表示について
この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。

危険

- 禁止** 火のそば、直射日光の当たる場所など、高温となる場所で使用、保管、放置しないでください。機器の変形、発熱、発火の原因となります。
- 分解禁止** 内部に電圧の高い部分がありますので分解、改造をしないでください。火災、感電の原因となります。

警告

- 禁止** 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波が心臓ペースメーカーや医療用機器に影響を与える恐れがあります。表示された電源電圧 (AC100V) 以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。本体およびACアダプターを電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れてください。発熱、破裂、発火などの原因となります。本機およびACアダプターを濡らさないでください。火災、感電の原因となります。製品の内部に水や異物を入れないでください。火災、感電の原因となります。充電端子をショートさせないでください。火災や故障の原因となります。ACアダプターのコードは伸ばして使用し、釘などで固定や束ねたまま使用しないでください。過熱による火災やけがの原因となります。ACアダプターのコードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下にいたりしないでください。断線、故障の原因となります。使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発熱、発火などの原因となります。付属のACアダプター以外で使用しないでください。機器の発熱、発火、故障の原因となります。異物や水などが機器の内部に入った場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて使用を中止してください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。コンセントや本体にプラグを差し込むときは横元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと過熱による火災やけがの原因となります。

注意

- 禁止** 落としたり、踏んだり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。くわついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。落下して故障の原因となります。遊覧車などの多い場所、高温になる場所、激しい振動のある場所、強力な磁気のある場所には設置、保管しないでください。故障の原因となります。濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。本体、ACアダプターを布などで覆った状態で使用しないでください。発熱、発火などの原因となります。充電中に落雷の恐れのあるときはACアダプターを電源コンセントから抜いて充電を中止してください。火災、感電、故障の原因となります。耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。音量を上げすぎないようにご注意ください。トランク型充電器を使用するとき蓋の閉鎖にご注意ください。指を挟んだり、爪を損傷する恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。けがなどの原因となります。ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずACアダプターの本体を持って抜いてください。コードを持って抜くと、コードの破損や火災、感電の原因となります。電源プラグの刃および刃の取り付けた部分にたまりごみなどは乾いた布で定期的に拭き取ってください。電源プラグ部の絶縁低下によって、火災の原因となります。製品本体の汚れは中性洗剤を含ませた布でふき取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用すると変形・変色の原因となります。本製品を長時間使用しない場合でも、1か月に一度を目安に充電を行ってください。機器を移動させる場合は必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。コードの傷つきや、けが、火災、感電の原因となります。長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因となります。

使用上の注意

ワイヤレス機器について

本製品は2.4GHzの周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

- 1. 本製品を使用される前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 本製品の使用により、万一、他の無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電波の送信を停止し、電波干渉を避けてください。
- 3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明な点がございましたら、当社相談窓口までお問い合わせください。

- 本製品は日本国内でのみご使用いただけます。
- 本製品は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。無線局の免許は必要ありません。
- 以下の行為は法律で禁じられています。
 - 一分解や改造を行う
 - 本体に貼付の技術適合証明ラベルをはがす
- 他の機器との影響
電子レンジ、デジタルコードレス電話、無線LANを使用する機器、Bluetooth搭載機器など、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声や映像が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。
- 伝送距離について
本製品は送信機の音声を受信機に無線伝送します。伝送可能な距離は、見通しが良い場所で送信機から約30~50m*です。*送信機からの伝送可能な距離は周囲の環境や建物の構造などによって変化します。送信機と受信機の間に壁や金属の扉など、電波を遮るものがあると伝送距離は短くなります。また、送信機は電波を反射する壁の近くや、電波を放射しにくいスチールラックの中などを避けてください。*屋内での使用を想定しています。

内蔵バッテリーについて

- バッテリーは、正常に使用した場合でも劣化する消耗部品です。バッテリーの消耗は、特性であり故障ではありません。保証期間内においても内蔵バッテリーは有償修理となります。
- 本製品を使用せず、長期間保管していた場合、バッテリー性能は低下します。しばらく使用しない場合にも定期的(6ヶ月ごと)に充電してください。
- 周囲温度が低い環境では、バッテリー持続時間が短くなります。
- リチウム電池はリサイクル可能な資源です。ご使用済みの製品の廃棄に際しては、各自自治体の廃棄方法に従ってください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ <http://www.bai.or.jp> をご覧ください。

電池交換について

専用バッテリーとなりますので交換はエムケー電子サービス課で行います。TEL.026-214-7855までご連絡ください。